いつも親切
茨城県信用組合

令和４年 12 月 21 日

各　位

茨城県信用組合

「仕事と家庭の両立体験プログラム」に金融リテラシー向上の一環としてロールモデルを派遣しました

茨城県信用組合（水戸市、理事長：渡邉　武）は、令和４年 11 月 28 日に開催された「仕事と家庭の両立体験プログラム」に、金融リテラシー向上の一環としてロールモデルを派遣いたしましたのでお知らせします。（※ロールモデル：働き方の参考になる職員等）

「仕事と家庭の両立体験プログラム」とは、若者世代が仕事と家庭の両立について具体的なイメージを持ち、固定的性別役割分担意識にとらわれずに（自分自身やパートナーの）キャリアビジョンを描けるようにすることを目的として、水戸市（男女平等参画課）と常磐大学（水戸市、学長：富田　敬子）が連携して実施している取組みです。

同プログラムは専門家による講義と企業の事例紹介で構成され、今回は当組合を含めた３社が参加しました。当組合からは職員２名が参加し、福利厚生に関する諸制度やロールモデルの日々の仕事・生活を紹介しました。

当組合は、今後とも、地域の活性化に向けた取組みを応援してまいります。

【実施内容】

日　時	令和４年 11 月 28 日（月）　13：00～14：30
場　所	みと文化交流プラザ
参加者	常磐大学人間科学部の学生 15 名
内　容	・ワーク・ライフ・バランス等に関する専門家の講義 ・企業の取組み事例の紹介 ・ロールモデルによる体験談 ・質疑応答

以　上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS